

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： カウンセリング I ナンバリング：2329	保育士資格取得のための 選択科目	単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：布施由起 担当形態：単独
系 列	保育の内容・方法に関する科目		
教科目			
授業の到達目標及びテーマ 1. カウンセリングの基礎的な理論や技法を理解できる。 2. ピアヘルピングに関する基礎的な知識・スキルを理解できる。 3. ピアヘルピングを実践することができる。			
授業の概要 カウンセリングの理論、技法、歴史やその種類について学ぶと共に、カウンセリングスキルを習得し、ピアヘルピングを実践するための力も身につける。			
授業計画 第1回：イントロダクション ピアヘルパーとは 第2回：カウンセリングの定義と歴史 第3回：カウンセリングの種類 第4回：ピアヘルピングの関係領域 第5回：ピアヘルパーの仕事とピアヘルパーに求められる資質 第6回：ピアヘルピングのためのカウンセリングスキル① 第7回：ピアヘルピングのためのカウンセリングスキル② 第8回：ピアヘルピングのためのカウンセリングスキル③ 第9回：ピアヘルピングのためのグループワーク① 第10回：ピアヘルピングのためのグループワーク② 第11回：児童期、青年期の発達 第12回：ピアヘルパーの心構えと留意点 第13回：ケーススタディ 第14回：ピアヘルピング体験 第15回：全体のまとめ 定期試験：レポート		授業時間外の学習 ・教科書や授業内で配布したプリントをもとに、前回の内容を確認し、次回の学習内容についても確認しておくこと。 ・ピアヘルピングの特徴について理解したことをまとめる。 ・授業内で紹介する参考文献を読み、カウンセリングスキル、グループワークについて理解を深める。 ・ピアヘルピング活動の留意点について、授業内で配布したプリント及び参考文献からまとめる。 ・ピアヘルピング体験を振り返って、今後の課題についてまとめる。 ・授業前後には、合わせて1時間程度の自主学習を要する。	
授業の方法 講義、グループ演習、ロールプレイを行う。單元ごとの小レポートにフィードバックを行う。			
テキスト 『ピアヘルパーハンドブック』 日本教育カウンセラー協会(編) 図書文化社			
参考書・参考資料等 授業時にプリントを配布。また、参考文献等は授業時に紹介する。			
学生に対する評価 授業参画度(30%)、小レポート(20%)、期末レポート(50%) ルーブリックに基づいた評価を行う。			
履修上の注意 ・授業にはまじめに取り組むこと。 ・受講にあたっては事前事後の学習を行い、グループ演習やロールプレイには積極的に取り組むこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	精神科クリニック勤務(臨床心理士、公認心理師)
実務経験を活かした教育内容 精神科クリニックで心理士として勤務した経験を活かして、ロールプレイを取り入れた実践的な演習を行う。			